

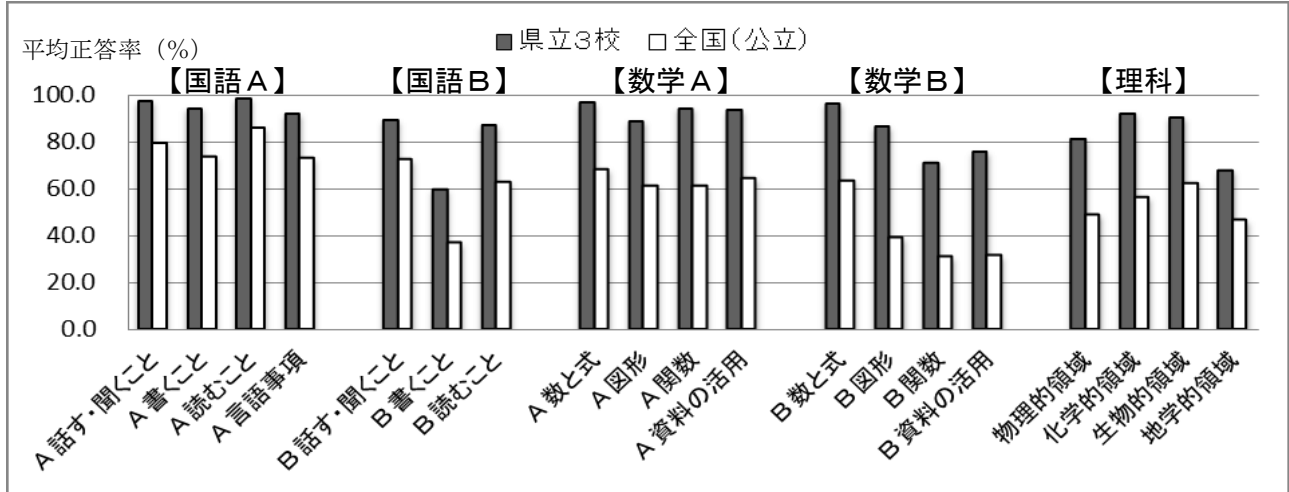
宮崎県の調査結果

【 県立中学校・中等教育学校の結果の概要 】

学校政策課

■ 県立中学校及び中等教育学校の状況

○ 領域別の平均正答率の状況



○ 特徴

- ・ 全ての教科区分において全国平均を上回っている。
- ・ 平均正答率が9割を超えている領域
 - ☆国語Aの全領域
 - ☆数学Aの3領域、数学Bの「数と式」
 - ☆理科の「化学的領域」「生物的領域」
- ・ 全国平均を30ポイント以上上回る領域
 - ☆数学Aの「関数」、数学B全領域
 - ☆理科の「物理的領域」「化学的領域」

■ 質問紙調査からみた状況と今後の指導のポイント

○ 宮崎西高等学校附属中学校

- ・ 生徒の学習に対する関心が高い。
- ・ 学習習慣・生活習慣がしっかりと身に付いている。
- ・ 個に応じた指導等の工夫が行われていることから、生徒の意識と指導方法が一体となり高い成果として現れている。

生徒一人一人の意識をさらに高めながら、主体的・協働的な学習を充実することで、一層学力向上への取組を進めたい。

○ 都城泉ヶ丘高等学校附属中学校

- ・ 生徒の全ての調査教科に対する関心が高い。
- ・ 課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力、読解力の育成のための活動を、十分に経験している。
- ・ 学習習慣や生活習慣の定着についても良好な状況である。

これまでの取組について、継続して実践するとともに、基礎的・基本的な知識・技能の定着や思考力・判断力・表現力の育成のための指導方法等の工夫改善をしていきたい。

○ 五ヶ瀬中等教育学校

- ・ 生活習慣・学習習慣が身に付いている。
- ・ グローバルフォレストピア学習（総合的な学習）の取組から、総合的な学習の時間における活動の充実や、将来への有効性を強く感じている生徒が多い。
- ・ 主体的な取組が、高い成果につながったと考えられる。

一層の学力向上を図るために、地域の豊富な資源や人材を生かしながら、指導方法の工夫改善を図り、一人一人の生徒に応じた学習を展開・充実していきたい。

※ 調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。
「平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」より